

1. 経営理念と経営方針及び経営管理体制

1. 経営理念と経営方針

経営理念

J A広島市は、農業と生活設計におけるアドバイスとサポートという事業を通じ、地域の暮らしに確かさと彩りをつくります。

経営方針

【農業】

地域農業の持続的発展と農業を通じた環境保全に取り組みます。

- 自立的、持続性のある地域農業の振興に向け、多彩な自然条件を有する特性ある立地条件、環境を存分に生かした特色ある農業の産地づくりに取り組みます。
- 生産者と消費者、農村と都市をひとつにつなぎ、地産地消を柱とした農業振興を図ります。
- 安全・安心な農畜産物の提供による健全な食文化の形成に努めます。
- 農が持つ多面的機能を通じて水・緑など豊かな自然環境を次世代に継承します。

【事業活動】

心豊かで健康な暮らしと活力ある地域社会づくりに貢献します。

- 地域に開かれたJ Aとして、人や地域との関わり合いを大切に、みなさまの“声”を広く事業に反映させるとともに、参加と共感による「人の輪」を広げる活動を推進します。
- 地域密着を基本に、生活シーンに対応したサービスの提供と健康・福祉・文化活動などJ Aらしい総合事業の特性を生かした多面的な事業の展開により、豊かで安心して暮らせる明るい社会づくりや地域の環境、文化、健康、福祉に貢献し、みなさまから心強い存在として頼りにしていただけるJ Aを目指します。

【財務及び組織体質】

経営基盤の一層の強化と健全性の向上に取り組みます。

- みなさまからの信頼と期待に応えるため、ガバナンス（企業統治）の強化に向け、業務執行体制やリスク管理態勢、コンプライアンス態勢をさらに充実、強化します。
- 運営にあたっては、合理的、効率的な運営と収益構造の改善によりスリムで強靱な財務基盤を構築し、経営の健全性を高めるとともに、情報開示などを進め経営の透明性を高めます。
- 環境の変化に柔軟に対応するだけでなく、変化を予測し積極的に新しいものを取り入れる活力に富んだ組織を目指します。

当J Aは、「農業と生活設計におけるアドバイスとサポートという事業を通じ、地域の暮らしに確かさと彩りをつくります。」という経営理念を基に、農業・事業活動・財務及び組織体質について経営方針を定めています。

また、平成27年度に開催されたJ A全国大会、J A広島県大会において、全国のJ Aが「農業者の所得増大」「農民生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標に掲げ、自己改革に取り組むことを決議しました。

経営理念及び自己改革の実現に向けた具体的実践計画として、「第7次中期経営計画」「第5次営農振興計画」を策定し、平成28年度から取り組んでいます。

「農業者の所得増大」に向けては、販売企画マネージャーを新たに配置し、量販店や加工業者への営業力を強化することで、新たな販路の開拓及び既存取引の取扱高拡大を進めます。また、予約購買の充実によるコスト低減に取り組むとともに、各種補助事業の提案・活用や、低金利の営農支援資金の活用促進等、農業経営に関する支援を行っていきます。

「農民生産の拡大」に向けては、地域特性を活かした品目の選定や計画的な作付け、振興方策をまとめた「地域別農業プラン」を策定し、担い手育成事業では、目的に応じて「J Aアグリサポート21事業」「J A広島市元気な担い手育成塾」「J A広島市活き活き“え～のう”塾」を3本柱として取り組みます。

「地域の活性化」に向けては、組合員や地域のみなさまとともに地域イベント等を企画・参画する「支店を拠点としたふれあい活動」を充実し、組合員全戸訪問や広報誌「こいぶみ」、支店広報紙によるJ A事業活動の理解浸透と継続的な関係の強化に取り組みJ Aファンづくりの創出を積極的に行います。

経営基盤の強化に向けては、経営方針及び自己改革の実現の大前提となる強い財務基盤の構築に向けて、組織態勢・営業推進態勢の整備により目標利益の確保を目指し、農業振興にかかる積立金の他、将来発生する可能性のあるリスクに備えた内部留保の積み増し及び自己資本の増強に取り組みます。

2. 経営執行体制

当J Aは、農業者により組織された協同組合であり、正組合員の代表者で構成される「総代会」の決定事項を踏まえ、総代会において選任された理事により構成される「理事会」が業務執行を行っています。また、総代会において選任された監事が理事会の決定や理事の業務執行全般の監査を行っています。

組合の業務執行を行うに当たり、信用事業については専任担当の理事を置くとともに、農業協同組合法第30条に規定する常勤監事及び員外監事を設置し、ガバナンスの強化を図っています。